



～立藩・命名・入府から350年の時を経て～ 久居誕生350年



久居誕生350年事業
PRキャラクター
たかみちさん

問い合わせ 久居総合支所地域振興課 ☎255-8803 FAX 255-0960

久居地域の中心地区は、寛文9(1669)年に津藩主藤堂高虎公の孫・藤堂高通公たかみちが久居藩を立てたことに始まります。令和元年から3年にかけては、この久居藩の立藩から寛文11(1671)年の高通公入府に至るまでの3年間から数えてそれぞれ350年目に当たります。この節目に歴史・伝統の再認識をするとともに市民の皆さんが交流できる機会をつくり、次代に向けた地域の魅力向上を図るため、「久居誕生350年事業」として市民と行政が協働しさまざまな事業を実施しています。



立藩 ～久居藩のはじまり～

寛文9(1669)年、津藩第2代藩主の藤堂高次公たかつくが隠居する際に長男高久公を津藩第3代藩主とし、次男高通公には5万石(後に3千石を追加)を分領して支藩を立てたことが久居藩の始まりです。その後、明治維新までの約200年間、分家として津藩を支えながら安定した治世が敷かれました。

立藩～入府の3年間と久居地域の歴史・魅力について、詳しくは津市ホームページをご覧ください。漫画「久居誕生物語」も公開中！



命名 ～「久居」の由来～

寛文10(1670)年、高通公は雲出の平原を一望に見渡せる野辺野の高台に陣屋(藩主の館)と侍屋敷200、町屋500から成る城下町を造り、「この地に永久に鎮居したい」という意味を込めて「久居」と命名しました。



入府 ～初代藩主・高通公～

寛文11(1671)年、完成した新たなまちに高通公が江戸から入城しました。正保元(1644)年に津城で誕生した高通公は教養のある文化人で、大名歌人としてその名が高く、「任口にんこう」という号で数多くの名句を残しました。元禄10(1697)年、満52歳で没し、寒松院(寿町)に葬られています。



初代藩主・藤堂高通公の木像

久居の魅力を伝えたい！

久居誕生350年事業の振り返り



高通公園お庭番隊大作戦

クイズやゲームを楽しみながら清掃やワークショップを実施



久居藩徹底放談会

久居藩の歴史に精通した有識者による基調講演と座談会を開催



ウォーキングイベント

奈良街道の踏破や、高通公の入城のルートを散策



たかみちさんスタンプラリー

久居藩ゆかりの地や各地域にある史跡を巡るスタンプラリー

